

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所

令和3年11月5日(金)

第10号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

今一度、超過在校等時間の縮減を！

通常授業の開始から1月がたちました。修学旅行や校外学習、県北駅伝大会に市内新人戦と、授業や行事に追われ、先生方もお疲れのことだと思います。

一方で、通常授業になり、超過在校等時間の増加が懸念されます。

先日、文書にて、月40時間を越えた時点で校長先生による面接をお願いしたところでした。月80時間以上になると、過労死ラインを越えることになります。

11月は、中学校で下校時間が早まる時期に入りますので、今一度、小・中・特別支援学校とも超過在校等時間の縮減をお願いします。



下表は今年度の4～9月における管内の超過在校等時間の状況です。「80時間を越えないためにはどうするか」から考えをスタートさせましょう。

管内の超過在校等時間の状況(4～9月)

超過在校等時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月
管内小学校						
平均時間	51時間55分	45時間38分	51時間02分	36時間13分	4時間15分	24時間28分
45時間以上	50.7%	47.0%	50.4%	29.0%	0.1%	8.1%
80時間以上	9.9%	3.5%	9.0%	0.6%	0.0%	0.0%
管内中学校						
平均時間	71時間52分	66時間39分	70時間41分	52時間02分	7時間47分	23時間59分
45時間以上	48.0%	48.3%	48.1%	46.7%	1.1%	7.9%
80時間以上	35.7%	28.1%	33.0%	10.8%	0.0%	0.3%

働き方改革推進のための一工夫

～次の取組はもう行っていますか？チェックしてみましょう～

- ☐ 時間割の工夫による5時間授業の実施
- ☐ 朝学習・朝読書指導の役割分担
- ☐ 学習指導案や教材の共通化
- ☐ 会議のペーパーレス化の徹底
- ☐ 内容の焦点化など校内研修の精選
- ☐ 学校行事の精選・地域行事への参加の精選
- ☐ 定時退勤日の徹底

- ☐ 学校閉庁日の導入
- ☐ 留守番電話の導入
- ☐ 専科教員の活用
- ☐ 一斉下校日の設定
- ☐ 複数顧問制の活用
- ☐ 部活動数の精選

※『全国の学校における働き方改革事例集』
文部科学省」による